

「文京区 プロテクトベイベーコンソーシアム」を設立

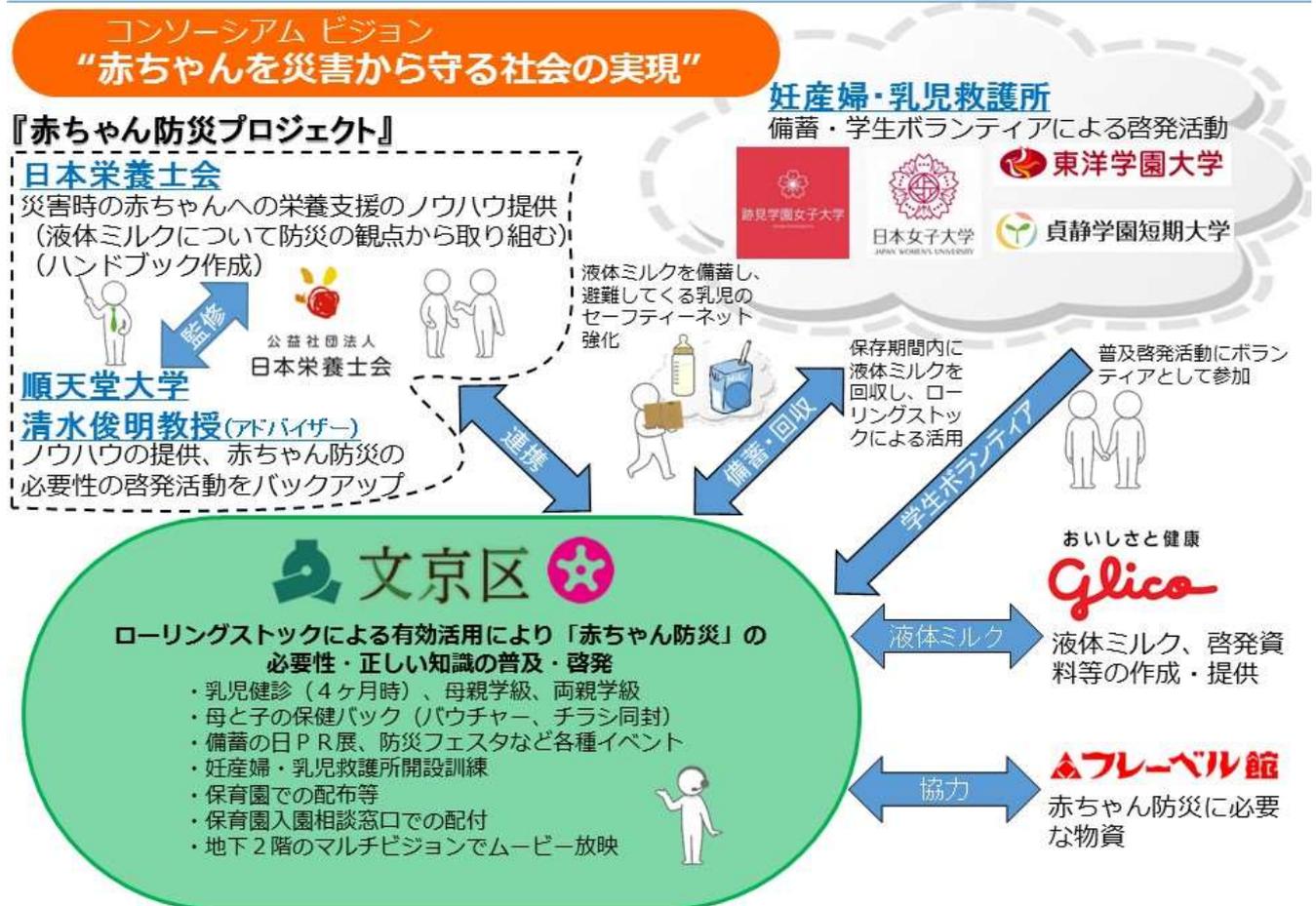
～「赤ちゃんを災害から守る社会の実現」に向けて～

文京区は、赤ちゃんを災害から守る社会の実現に向けて、大学や事業者などの様々なセクターと集結・協力して本日、平成 30 年 11 月 19 日に「文京区プロテクトベイベーコンソーシアム」を設立することとしました。

【コンソーシアムの概要】

1. ビジョン 赤ちゃんを災害から守る社会の実現
2. 構 成 員 文京区、跡見学園女子大学、貞静学園短期大学、日本女子大学、東洋学園大学
江崎グリコ株式会社、株式会社フレーベル館
3. スキーム

文京区プロテクトベイベー スキーム



【お問合せ先】コンソーシアム事務局(文京区防災課)

TEL 03-5803-1179 FAX 03-5803-1344

4. 活動骨子

- 災害時の赤ちゃんの栄養支援ノウハウの習得と活用

日本栄養士会「赤ちゃん防災プロジェクト」と連携して作成する災害時に重要な赤ちゃんの「栄養」と「保護」に関するハンドブックを配布し、基礎知識の普及・啓発を行ってまいります。

- 妊産婦・乳児救護所（※1）の備蓄物資の充実

区内に設置する妊産婦・乳児救護所において、赤ちゃんに特化した備蓄品を充実してまいります。具体的には、十分な水が用意できない時などを想定し、国内製造が解禁されたばかりの「液体ミルク」を全国の自治体に先駆けて備蓄することをはじめ、授乳クッションやスタイ、絵本など備蓄品の充実を図ってまいります。

- 液体ミルクの正しい使い方の習得

様々な機会を捉え、液体ミルクの正しい使用方法を普及・啓発し、誰もが正しく使える環境づくりを行ってまいります。

- 使用経験の構築

赤ちゃんが飲み慣れていないために災害時に活用できないということを防ぐため、一定期間備蓄した液体ミルクを子育て支援機関や防災訓練などの場で配布し、実際に活用していただくなどローリングストック（※2）により使用経験を構築してまいります。

- ※1 妊産婦・乳児救護所について

文京区内にある大学や助産師会等の協力により、平成 24 年に全国に先駆け、地震等による家屋の倒壊、又は倒壊の恐れがある場合に妊産婦・乳児（対象は妊婦、乳児（0 歳児）及びその母親）を一時的に受け入れ、避難生活の支援や医療・健康相談を行う救護所として 4 か所の私立大学等（跡見学園女子大学、貞静学園短期大学、日本女子大学、東洋学園大学）を指定。

開設基準は区内で震度 5 弱以上の地震が発生した場合等、区災害対策本部の決定により開設する。スタッフや運営は区職員等が行い、妊産婦・乳児等のケアは、助産師会等から派遣される助産師、看護師、医師等が行う。

これまでの備蓄として、非常食や毛布等の他に、アレルギー対応粉ミルク、新生児用紙おむつ等の乳児用物資や非常時用の分娩セットを備蓄している。

- ※2 ローリングストック

買い置きしてある備蓄用の食品・加工品を普段から活用し、使ったらその分だけ買い足す方法。日頃から自宅等で利用しているものを少し多めに備えることで、災害時に当面生活することが可能となる。

【お問合せ先】コンソーシアム事務局(文京区防災課)

TEL 03-5803-1179 FAX 03-5803-1344